# KDDI と協働の森パートナーズ協定を締結

（締結式　市長あいさつ）

本日は、ＫＤＤＩ株式会社のご協力で、四万十市では４例目となります「協働の森づくりパートナーズ協定」が締結の運びとなりました。ＫＤＤＩ並びに高知県の関係者の皆様に心から感謝申し上げます。

今回協定の対象になった協働の森は、中村の市街地北側にそびえる「前が森」と呼ばれる山にある市有林です。四万十ヒノキの森です。

前が森の標高は 611 メートルです。ＫＤＤＩの担当の方、高知県環境共生課の担当の方は、下見で現地を訪ねていただいていますので、位置関係はおわかりだと思います。

前が森は「小京都中村」の街づくりと深い関係がある山です。

四万十市には、京都に縁のある地名が多く知られています。右山（右京）、鴨川（加茂川）、佐岡（佐京）など、町や川にちなむもののほか、東山、逢坂、衣笠山など山にちなむものも、多く見られます。

古来、地名の中の「前」には、「中心」という意味があり、古い文献では、京都の船岡山、奈良の耳成山など「天子は、北に山のある場所に、南向きに座するのが正しい」とされています。そのために町は北の山を中央通りから正面に見えるようにしてつくられていました。

中村の市街地の通りに実際に立って望んでみると、いずれの通りからも「前が森」が正面、北側に見えます。中村の町並みは「前が森」を目印にしてつくられたことが分かります。つまり前が森は小京都中村の街づくりにおいて、中心的な山であり、四万十市にとってゆかりのある山だったと言えます。また、四万十川に注ぎ込む後川の源流域でもあります。

森林を守り育てることは、川の水質保全、災害対策の面からも重要であると考えておりますので、ＫＤＤＩ株式会社からの協賛金を有効に活用させていただき、森林の整備に努めて参りたいと思っています。

２０１１年9月6日
四万十市長　田中　全

**【 協定の概要 】**

・協定森林の名称　「KDDI 取扱説明書リサイクルの森」
・森 林 の 場 所　市内蕨岡の市有林
・面　　　　積　約６３ｈａ、間伐１５ｈａ
・協　定　期　間　平成２３年９月６日～平成２６年９月５日（３年間）